

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらびあぼけつと籠原駅前教室						
公表日		令和7年	12月	18日				
利用児童数		37人		回収数	29人			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	4			・もう少し広いスペースの方が安全か ・少し狭いと思うが設備上しょうがない	・安全面を考慮しながら、できるだけ子どもたちが広くスペースを使えるよう環境作りを行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1				・法令が必要とされている配置数に加え、常勤の職員を増やせるよう目指してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2				・今後より分かりやすく安全に配慮した環境設定を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29					・各クール終了後には、フロアや個室、トイレの掃除と、教材や使用したおもちゃの消毒を徹底しております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29					・児発管を中心に、一人一人の特性に目を向け、必要な支援を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29					・今後も継続して参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29					・お子様、保護者様に寄り添うことで、ニーズや課題を正しく理解し、作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1		1		・今後も継続して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29					職員は正しく情報を共有し、支援計画に沿った支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		2	・迎えに行った際「今日は〇〇をやりました」と報告を頂きますが、同じ内容が続いた時期があり、子どもがその内容が弱いから繰り返し行っているのだらうと捉えていました。半年に一度の面談でがつり話し合いはして頂けますが、日々の活動の中で「今、ここを少し強くしたいので重点的に繰り返しやってます」などの声がけを頂けると認識しやすいかなと思いました。	・保護者様に分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	6	1	6	・特に交流はない。	・交流会は行っておりません。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					・今後も継続して参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					・今後も継続して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	5		7	・家族支援プログラムは受けていない。あるのかよく分からない。 ・研修会などには参加したことがないので機会があれば参加したいです。	・家族支援プログラムについて、通信等を通じてご案内しておりますが、周知には至っておりません。今後の課題の一つとして力を入れてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29					・今後も継続して参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1		1	園や家庭内で大きなトラブルやよほど困ったことがあっても送り迎えの時ではサッと話せないでノートを通じて報告させて頂いています。こちらから「これが困っている」など相談すると分かりやすく助言して頂けるので、とても助かりますが、毎日慌ただしくしていると、相談の機会を逃すので「家での様子はどうですか？」と、たまに聞いて頂けたら心が楽になりそうです。皆様に甘えすぎかもしれませんが・・・。	・支援計画更新時の定期的な面談以外にも、気軽に相談できる環境や体制づくりに努めてまいります。 ・送迎時は混雑してしまうことが多いため、お声がけして、改めてゆっくりお話ができる時間が設けられるようにしてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1				・今後も継続してまいります。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	8	11	・ 父母会や保護者同士、兄弟同士の交流などは特に無いため不明。 ・ 短時間なので、あまりそういった機会は無いですが、特に（うちは）必要もないかと思えます。 ・ 保護者会等に参加したことはありませんが、開催があるようでしたら情報交換など出来ていいなと思いました。	・ 昨年も同様のご意見を頂きましたが、今のところ、保護者会等を行う用途は立っておりません。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3			・ 利用したことがないので	・ 相談や申し入れには迅速に対応するよう心がけておりますが、全ての保護者様に気軽に相談頂けるよう周知に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28			1		・ 今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26		1	2		・ 活動概要や行事については、定期的にSNSやブログ、月1回の通信にて発信させて頂いてます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28			1		・ 個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	3		1		・ 今後も様々なマニュアル、避難訓練の周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1		2		・ 避難訓練を年に2回行い、都度、通信にてご報告させて頂いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			1		保護者様には契約時に必ず避難場所を案内、災害時の教室の対応についてご説明させて頂いております。今後も定期的に避難訓練等を行い、お子様の安全を最優先に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			1		・ 怪我があった場合は、速やかに保護者様に報告させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				・ いつも楽しそうに通っています。	これからも、お子様が楽しく通って頂けるよう最大限の配慮と、支援を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2			・ 事業所ではなく、子どもの特性の関係でムラがある ・ 親子で通所の日を楽しみにしています。	・ 一人一人のお子様の特性に配慮し、お子様が負担なく過ごせるよう心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				・ てらびあさんに通わせることが出来て大満足です。	・ ありがとうございます。今後もお子様にとって、安心して楽しく通える教室作りに努めてまいります。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと 籠原駅前教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・小集団での活動時が椅子を片付けるようにしています	・スペースの確保のため、玩具の入れ替えなど行ってみたいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・法令で必要とされている人員を配置しています。	・より良いチーム作りのため、採用と育成に尽力したいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・段差なく過ごしやすい環境になっている。 ・玄関スペースが狭いため、送迎時は人数制限を行っています。	・今後も継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・各クール終了時ごとの清掃、消毒、次に利用予定の子どもに合わせたテーブルや椅子の配置を行っています。	・窓がないため、換気できないので困っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・クールダウンが必要な場合等、利用できるようにしています。	・今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・教室独自の振り返りシートを使用し、全職員利用しています。	・今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・アンケートの集計結果を全員で共有し、改善に向けて話し合ってます。	・今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員同士が意見を出しやすい環境が整っています。	・今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・てらびあぼけっと本部の方による評価をして頂いています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・必要な研修には積極的に参加するようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・作成、公表されています。	・今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・保護者との面談からニーズを聞き取り、アセスメントを実施しています。	・今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児発管だけでなく、全職員が情報を共有した上で検討しています。	・今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・全職員、計画書には常に目を通すようにしています。	・今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・てらびあぼけっと本部より頂いている豊富なアセスメントシートを使用し、様々な角度からの観察を行っています。	・今後も継続していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・5領域を取り入れ、子どもの実態を正確に把握できるようにしています。	・今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・児発管を中心に、週1回のカンファレンス時に行っています。	・今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・メリハリが出るようにプログラムの内容、順序など工夫しています。	・今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		・小集団での活動と、個別支援を基本として行っています。	・今後も継続していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼時に全体打ち合わせを実施、個別に児発管への相談を行っています。	・今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終礼後、その日気になった点を全体で話し合う時間を設けています。	・今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・振り返りシートを作成し、小さな変化を見逃さないよう記録しています。	・今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に1回、モニタリングを実施し、保護者と相談の上、計画の見直しを行っています。	・今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・主に児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要に応じて連携を行い、共通の支援ができるよう整えています。	・今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・保護者様のご希望があった際、園訪問を行い、情報の共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		・小学校や支援学校との直接的なやり取りは行っていないですが、今後、前向きに検討していきたいです。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	・てらびあぽけっと本部からの助言を頂いておりますが、地域の支援センターとの連携はこれからになります。	・今後、市や県が行っている研修会にも参加していきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・同じ幼稚園から通所している児童が多いこともあり、地域での活動は行っていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎の際、お子様の状況や今後の課題、対応の仕方についてお話しています。	・今後も継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・ご自宅でも取り入れて頂きたいトレーニング等、お伝えしていますが、周知までは至っていません。	・月に1回発行している通信などで、家族支援についての案内を行っていますが、送迎時にもお伝えするようにしていきたいです。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・お聞き取りシートや面談を通して定期的に意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・利用開始時及び、更新時に説明を行い同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・相談には迅速に対応し、適切なアドバイスができるよう心がけています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		現状では予定しておりません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談・申し入れには迅速に対応しております。	・今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・月1回の通信の発行、ブログ、インスタグラムを活用して発信しています。	・今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人の名前が記載されたプリントや書類は必ずシュレッダーにかけ、個人情報が漏れないよう対策しています。	・今後も継続していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・可能な限り、合理的配慮の観点に基づいた対応を心がけています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・現状では、地域住民を招待する行事は行っていません。	・今後も予定しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・年2回、避難訓練の実施。 ・保護者の方へ指定避難場所のご案内 ・作成したマニュアルを元に打ち合わせを行っています。	・今後も継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPの策定、定期的に訓練を行う、避難用リュックの確認（賞味期限など）を行っています。	・今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・契約時に必ず行っています。	・今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アレルギーについては、必要に応じ保護者に確認しています。	・今後も継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画を作成し、教室内の備品についても、定期的に確認しています。	・今後も継続していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に説明しています	・今後は安全計画や、BCPを入口に配置するなどしていきたいです。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・終礼でヒヤリハットの報告を行い、再発防止に向けた注意点を確認しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年に1回以上、事業所内研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現状、身体拘束を行うことはありませんが、やむを得ない状況が発生した場合は必ず児発管・管理者に確認をとるようにしています。	契約時に虐待防止についての説明をさせて頂いております。

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけつと籠原駅前教室		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 18 日 ～ R7年12 月 6 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R7年 11月 14 日 ～ R7 年 11 月 28 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 16 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の特性に配慮した、適切な支援を行っている	・職員が一人で抱え込まず、チームとして支援に向き合えるよう、職員間の交流を大切にしている。	・研修等に積極的に参加し、職員の専門性を高めるとともに、保護者の方への伝え方、話し方等の研修も行っていきたい。
2	・関係関連機関との連携	・園訪問や、他事業所、相談支援事業所とのモニタリングを行っている。 ・近隣の幼稚園や保育園との連携が取れているため、共通の認識を持った療育に取り組むことができる。	・共通した支援が行えるよう、引き続き、情報共有をしてきたい。
3	・保護者に寄り添い、丁寧に聞き、適切なアドバイスをすることで悩みを解決していけるよう心がけている。	・保護者からの相談には即時対応し、カンファレンスを行い、保護者のニーズやお子様の状況を職員間で共有している。	・都合上、中々時間が取れない保護者も多数いることから、ZOOMの活用など、相談の窓口を広げていきたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を実施できない	・日常的な支援業務を優先しているため、機会を設けることが難しい	・毎年、保護者会を希望する声を頂いているが、逆に負担を感じるという保護者も多く、開催方法を検討中である。
2	・利用者の増加による、駐車場の不足	・駅前のため、中々近隣の駐車場に空きが出ない。	
3			